

**1. コンサルタント 部会**

**都築 慎一 部会長**

**1. Departamento de Consultoria e Assessoria**

**Presidente: Shinichi Tsuzuki**

# 「2009年上期の回顧と下期の展望」 コンサルタント部会発表資料

テーマ「2009年上期のブラジル経済  
の情勢と景気は底を脱したか」

2009年8月18日

# 国民総生産成長率

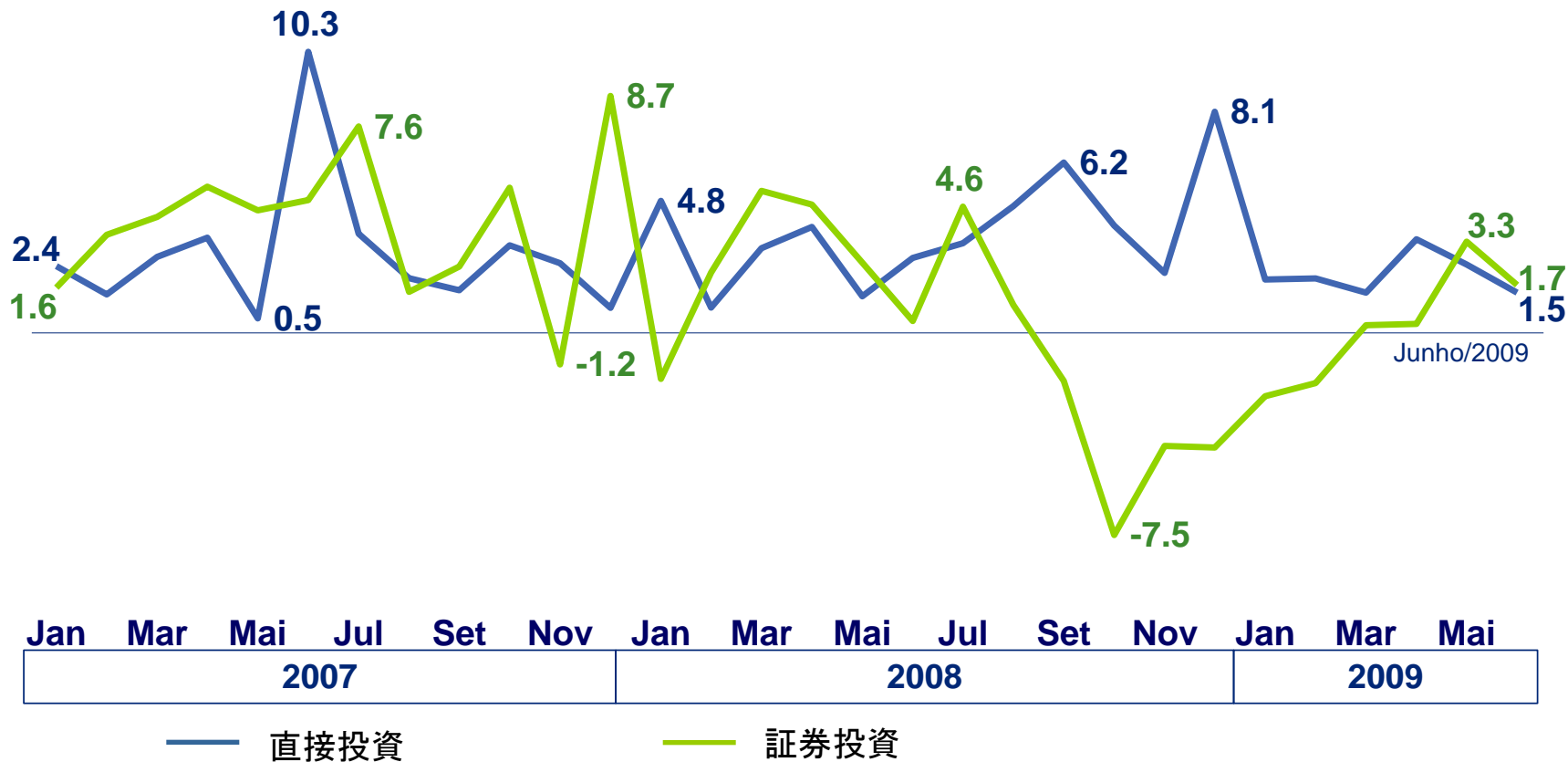


出所: ブラジル中銀銀行

# 主要国際収支アイテムから見た 貿易/投資の推移(億ドル)

	2008年後期 (7月－12月)	2009年前期 (1月－6月)
<u>経常収支</u>	▲ 114	▲ 70
<u>貿易</u>	134	140
輸出	1,073	700
輸入	939	560
<u>直接投資</u>	164	145
対外直接投資	▲ 119	18
対内直接投資	283	127
<u>証券投資</u>	▲ 122	13
<u>外貨準備高</u>	(2008年12月) 2,068	(2009年6月) 2,084

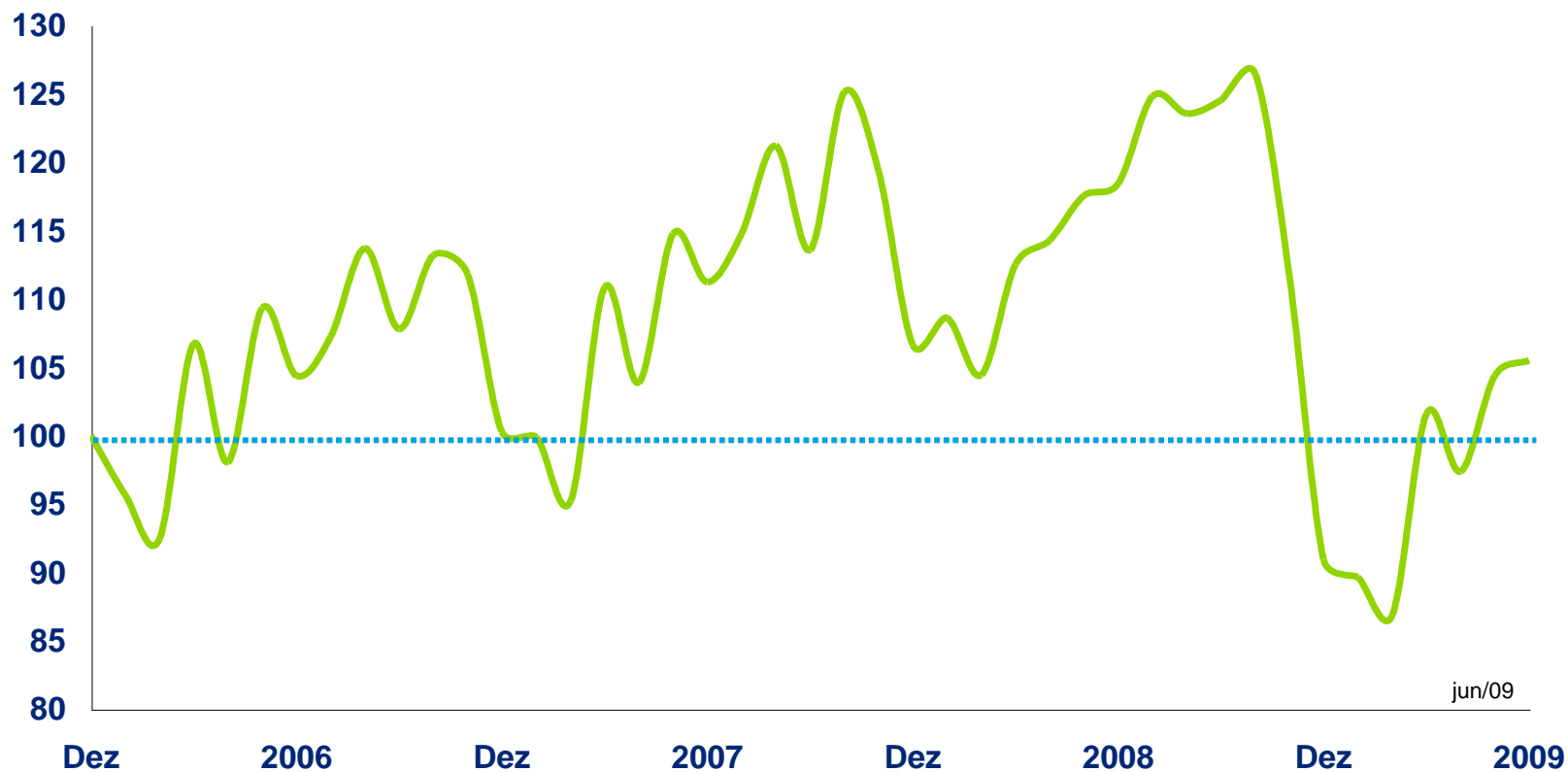
# 海外からのブラジル投資の推移 (10億ドル)



Fonte: Research - Deloitte (a partir de consolidação de dados do Banco Central do Brasil - BC).

# 工業生産指数

基準値 2005年12月 = 100



Fonte: Deloitte - Research (a partir da consolidação de dados do Instituto Brasileiro de Geografia e Estatística - IBGE)

# 失業率の推移(%)



Fonte: Research - Deloitte (a partir de dados do Instituto Brasileiro de Geografia e Estatística - IBGE).

Nota: (\*) População Economicamente Ativa.

# 支払遅延額の推移 % - 占める割合



Fonte: Research - Deloitte ( a partir da consolidação de dados do Banco Central - BC).



# アンケート「ブラジル経済は底を脱したか」 まとめ

回答数 7

はい 3 基調としては持ち直してきている。

いいえ 4 業種により回復度合にバラツキがある。  
实体经济の回復はまだしっかりした足取りとは言えない。  
経常収支の2008年のマイナス282億ドルの落ち込みをもっと謙虚に検討すべき。

# マクロ経済に対する見方まとめ

景気復調局面に入ったと言ってよいとする見方と慎重な見方。

低所得者への可処分所得融資増大及び時限的減税政策による国内消費刺激策は一定の効果を上げているが、その先 持続的確かな回復/成長に連なるとは見方がわかれている。

公共投資への資金拠出や実施の遅れ等により国内経済への刺激がどのくらいの効果を生んでいるのか疑問あり。

輸出の回復は世界各国の景気回復度合によるところが多いためまだ時間がかかりそう。ブラジルでは輸出はそう増えず輸入だけが増えていくのでは？

全体として実体経済が力強い足取りで回復の道を歩み始めているとは言えず 2009年後半はまだ不安定要素があるため設備投資には慎重な企業が多いのでは？ 特に製造業が危機前の水準に戻るには2010年に持ち越されるであろう。

# ブラジル貿易投資統計

## ブラジルの国・地域別対内直接投資<グロス>

(単位: 100万ドル, %)

	2007年	2008年		
	金額	金額	構成比	伸び率
米国	6,039	6,918	15.8	14.6
ルクセンブルグ	2,855	5,937	13.5	108.0
オランダ	8,116	4,624	10.5	△ 43.0
<b>日本</b>	<b>465</b>	<b>4,099</b>	<b>9.3</b>	<b>781.5</b>
スペイン	2,164	3,787	8.6	75.0
フランス	1,214	2,856	6.5	135.3
ケイマン諸島(英)	1,604	1,555	3.5	△ 3.1
カナダ	818	1,432	3.3	75.1
オーストラリア	494	1,153	2.6	133.4
バハマ	603	1,098	2.5	82.1
バージン諸島(英)	372	1,047	2.4	181.5
バミューダ諸島(英)	1,498	1,038	2.4	△ 30.7
ドイツ	1,757	1,037	2.4	△ 41.0
ポルトガル	468	1,026	2.3	119.2
スイス	859	773	1.8	△ 10.0
英国	1,004	641	1.5	△ 36.2
その他	3,375	4,865	11.1	44.1
合計	33,705	43,886	100.0	30.2

出所: 中銀

# 日本からの新規投資傾向

2009年6月現在 JETROの調べでは20社前後が新たにブラジル市場への進出/販売強化を模索。

2009年上期は新型インフルエンザの影響、日本本社の金融危機による影響 ブラジル輸入業者許可の遅延等により、一時的に足ぶみ状態となった計画が多い。

# 日本からの新規投資傾向

日本の産業にとって安定確保が重要となっている資源権益の獲得

自動車関連事業を中心にした投資から消費材製造販売に業種拡大

中小企業の進出

日本国内の売上げが頭打ちとなる中、アジアのみならず南米市場もターゲットとして戦略構築